

国語科ご担当先生

第一学習社編集部

**令和7年度用 高等学校教科書**  
**「高等学校 言語文化」(言文713)**  
**資料更新・記述変更のお知らせ**

平素より弊社発行教科書には格別のご愛顧を賜り、深く感謝いたしております。  
 現在ご使用いただいている弊社発行の「高等学校 言語文化」教科書(言文713)につきまして、以下の記述の変更がございます。  
 これらは、文部科学省に申請し、承認を得ましたので、令和8年度版において変更いたします。ご指導に際しましては、よろしくご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

■記述の変更

頁	訂正箇所	原文	訂正後
50	2 完了	確述 (強意)	強意 (確述)
130	与謝野晶子		※与謝野晶子の写真を変更
158	下7	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: right;"> <p>便<sup>すなはち</sup> 即<sup>すなはち</sup> 乃<sup>すなはち</sup> 則<sup>すなはち</sup></p> <p>す だ そ く</p> <p>ぐに だちこす</p> <p>に ちこす</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>相<sup>あひま</sup> 学<sup>まなぶ</sup></p> <p>如<sup>ごと</sup> 而<sup>して</sup></p> <p>先<sup>まづ</sup> 乃<sup>すなはち</sup> 不<sup>た</sup></p> <p>筆<sup>ふで</sup> 即<sup>すなはち</sup> 給<sup>たまは</sup> 思<sup>は</sup></p> <p>便<sup>すなはち</sup> 制<sup>とど</sup> 取<sup>り</sup> 則<sup>すなはち</sup></p> <p>成<sup>なり</sup> 人<sup>ひと</sup> 壁<sup>かべ</sup> 岡<sup>おか</sup></p> </div> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; color: red; font-weight: bold;">同じ読み方をする字</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: right;"> <p>便<sup>すなはち</sup> 即<sup>すなはち</sup> 乃<sup>すなはち</sup> 則<sup>すなはち</sup></p> <p>す だ そ く</p> <p>ぐに だちこす</p> <p>に ちこす</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>噲<sup>あはれ</sup></p> <p>即<sup>すなはち</sup></p> <p>帯<sup>おび</sup></p> <p>劍<sup>けん</sup> 相<sup>あひま</sup> 学<sup>まなぶ</sup></p> <p>擁<sup>よう</sup> 如<sup>ごと</sup> 而<sup>して</sup></p> <p>盾<sup>たて</sup> 乃<sup>すなはち</sup> 不<sup>た</sup></p> <p>筆<sup>ふで</sup> 入<sup>いれ</sup> 給<sup>たまは</sup> 思<sup>は</sup></p> <p>便<sup>すなはち</sup> 軍<sup>いくさ</sup> 取<sup>り</sup> 則<sup>すなはち</sup></p> <p>成<sup>なり</sup> 門<sup>かど</sup> 壁<sup>かべ</sup> 岡<sup>おか</sup></p> </div> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; color: red; font-weight: bold;">同じ読み方をする字</p>

159	上 14	<p>何如・何若  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      理由  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      思ふに</p> <p>特殊な読み方を  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      する語</p> <p>以爲  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      備用  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      者用  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      法以  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      令所  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      導民  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      也</p>	<p>何如・何若  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      理由  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      思ふに</p> <p>特殊な読み方を  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      する語</p> <p>所以爲  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      備用  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      者用  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      法以  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      枕流  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      欲洗  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      其耳  <small>いかにいかに いかにいかに</small>      法</p>
174	リード文	<p>戦国時代、燕国では王の噲が遊説家の甘言にのせられ、<u>臣下に王位を譲って</u>隠居するなど乱脈な政治が行われ、混乱の極みにあった。</p>	<p>戦国時代、燕国では王の噲が遊説家の甘言にのせられて<u>乱脈な政治を行</u>ったため、混乱の極みにあった。</p>
174	脚注 2	前三二一—前三一二在位。	前三二一—前三一四在位。
174	脚注 4	前三一二—前二七九在位。	前三一二—前二七九在位。
184	脚注 2	安西都護府(今の新疆ウイグル自治区庫車県)。	安西都護府(今の新疆ウイグル自治区庫車市)。

210	自発・可能 受身・尊敬 使役・尊敬  過去	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">過去</th> <th colspan="2">使役・尊敬</th> <th colspan="2">受身・尊敬</th> <th colspan="2">自発・可能</th> <th colspan="2">助動詞の種類</th> </tr> <tr> <td>けり</td> <td>き</td> <td>しむ</td> <td>さす</td> <td>す</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>る</td> <td>意味 (一) は主な訳語</td> </tr> <tr> <td>詠嘆(マウ、ナア、タナア)</td> <td>過去(マタ、ソウダ)</td> <td>使役(セル、サセル)</td> <td>尊敬(オニナル、レル、ラレル)</td> <td>受身(レル、ラレル)</td> <td>尊敬(オニナル、レル、ラレル)</td> <td>受身(レル、ラレル)</td> <td>尊敬(オニナル、レル、ラレル)</td> <td>自発(自然ニレル、自然ニラレル)可能(コトガデキル、ラレル)</td> <td>未然形</td> </tr> <tr> <td>(けら)</td> <td>(せ)</td> <td>しめ</td> <td>させ</td> <td>せ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>れ</td> <td>連用形</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>しめ</td> <td>させ</td> <td>せ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>れ</td> <td>終止形</td> </tr> <tr> <td>けり</td> <td>き</td> <td>しむ</td> <td>さす</td> <td>す</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>る</td> <td>連体形</td> </tr> <tr> <td>ける</td> <td>し</td> <td>しむる</td> <td>さする</td> <td>する</td> <td>らるる</td> <td>らるる</td> <td>らるる</td> <td>るる</td> <td>已然形</td> </tr> <tr> <td>けれ</td> <td>しか</td> <td>しむれ</td> <td>さすれ</td> <td>すれ</td> <td>らるれ</td> <td>らるれ</td> <td>らるれ</td> <td>るれ</td> <td>命令形</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>しめよ</td> <td>させよ</td> <td>せよ</td> <td>られよ</td> <td>られよ</td> <td>られよ</td> <td>○</td> <td>活用型</td> </tr> <tr> <td>ラ変型</td> <td>特殊型</td> <td colspan="2">下二段型</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">四段・ナ変・ラ変の未然形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>活用型の通用形(カ変・サ変には未然形にも接続)</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">四段・ナ変・ラ変の未然形</td> </tr> </table>	過去		使役・尊敬		受身・尊敬		自発・可能		助動詞の種類		けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	意味 (一) は主な訳語	詠嘆(マウ、ナア、タナア)	過去(マタ、ソウダ)	使役(セル、サセル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	自発(自然ニレル、自然ニラレル)可能(コトガデキル、ラレル)	未然形	(けら)	(せ)	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	連用形	○	○	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	終止形	けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	連体形	ける	し	しむる	さする	する	らるる	らるる	らるる	るる	已然形	けれ	しか	しむれ	さすれ	すれ	らるれ	らるれ	らるれ	るれ	命令形	○	○	しめよ	させよ	せよ	られよ	られよ	られよ	○	活用型	ラ変型	特殊型	下二段型		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形			活用型の通用形(カ変・サ変には未然形にも接続)	右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">過去</th> <th colspan="2">使役・尊敬</th> <th colspan="2">受身・尊敬</th> <th colspan="2">自発・可能</th> <th colspan="2">助動詞の種類</th> </tr> <tr> <td>けり</td> <td>き</td> <td>しむ</td> <td>さす</td> <td>す</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>る</td> <td>意味 (一) は主な訳語</td> </tr> <tr> <td>詠嘆(マウ、ナア、タナア)</td> <td>過去(マタ、ソウダ)</td> <td>使役(セル、サセル)</td> <td>尊敬(オニナル、レル、ラレル)</td> <td>受身(レル、ラレル)</td> <td>尊敬(オニナル、レル、ラレル)</td> <td>受身(レル、ラレル)</td> <td>尊敬(オニナル、レル、ラレル)</td> <td>自発(自然ニレル、自然ニラレル)可能(コトガデキル、ラレル)</td> <td>未然形</td> </tr> <tr> <td>(けら)</td> <td>(せ)</td> <td>しめ</td> <td>させ</td> <td>せ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>れ</td> <td>連用形</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>しめ</td> <td>させ</td> <td>せ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>られ</td> <td>れ</td> <td>終止形</td> </tr> <tr> <td>けり</td> <td>き</td> <td>しむ</td> <td>さす</td> <td>す</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>らる</td> <td>る</td> <td>連体形</td> </tr> <tr> <td>ける</td> <td>し</td> <td>しむる</td> <td>さする</td> <td>する</td> <td>らるる</td> <td>らるる</td> <td>らるる</td> <td>るる</td> <td>已然形</td> </tr> <tr> <td>けれ</td> <td>しか</td> <td>しむれ</td> <td>さすれ</td> <td>すれ</td> <td>らるれ</td> <td>らるれ</td> <td>らるれ</td> <td>るれ</td> <td>命令形</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>しめよ</td> <td>させよ</td> <td>せよ</td> <td>られよ</td> <td>られよ</td> <td>られよ</td> <td>れよ</td> <td>活用型</td> </tr> <tr> <td>ラ変型</td> <td>特殊型</td> <td colspan="2">下二段型</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">四段・ナ変・ラ変の未然形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>活用型の通用形(カ変・サ変には未然形にも接続)</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">右以外の動詞の未然形</td> <td colspan="2">四段・ナ変・ラ変の未然形</td> </tr> </table>	過去		使役・尊敬		受身・尊敬		自発・可能		助動詞の種類		けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	意味 (一) は主な訳語	詠嘆(マウ、ナア、タナア)	過去(マタ、ソウダ)	使役(セル、サセル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	自発(自然ニレル、自然ニラレル)可能(コトガデキル、ラレル)	未然形	(けら)	(せ)	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	連用形	○	○	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	終止形	けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	連体形	ける	し	しむる	さする	する	らるる	らるる	らるる	るる	已然形	けれ	しか	しむれ	さすれ	すれ	らるれ	らるれ	らるれ	るれ	命令形	○	○	しめよ	させよ	せよ	られよ	られよ	られよ	れよ	活用型	ラ変型	特殊型	下二段型		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形			活用型の通用形(カ変・サ変には未然形にも接続)	右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形	
過去		使役・尊敬		受身・尊敬		自発・可能		助動詞の種類																																																																																																																																																																																																																							
けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	意味 (一) は主な訳語																																																																																																																																																																																																																						
詠嘆(マウ、ナア、タナア)	過去(マタ、ソウダ)	使役(セル、サセル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	自発(自然ニレル、自然ニラレル)可能(コトガデキル、ラレル)	未然形																																																																																																																																																																																																																						
(けら)	(せ)	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	連用形																																																																																																																																																																																																																						
○	○	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	終止形																																																																																																																																																																																																																						
けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	連体形																																																																																																																																																																																																																						
ける	し	しむる	さする	する	らるる	らるる	らるる	るる	已然形																																																																																																																																																																																																																						
けれ	しか	しむれ	さすれ	すれ	らるれ	らるれ	らるれ	るれ	命令形																																																																																																																																																																																																																						
○	○	しめよ	させよ	せよ	られよ	られよ	られよ	○	活用型																																																																																																																																																																																																																						
ラ変型	特殊型	下二段型		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形																																																																																																																																																																																																																							
	活用型の通用形(カ変・サ変には未然形にも接続)	右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形																																																																																																																																																																																																																							
過去		使役・尊敬		受身・尊敬		自発・可能		助動詞の種類																																																																																																																																																																																																																							
けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	意味 (一) は主な訳語																																																																																																																																																																																																																						
詠嘆(マウ、ナア、タナア)	過去(マタ、ソウダ)	使役(セル、サセル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	受身(レル、ラレル)	尊敬(オニナル、レル、ラレル)	自発(自然ニレル、自然ニラレル)可能(コトガデキル、ラレル)	未然形																																																																																																																																																																																																																						
(けら)	(せ)	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	連用形																																																																																																																																																																																																																						
○	○	しめ	させ	せ	られ	られ	られ	れ	終止形																																																																																																																																																																																																																						
けり	き	しむ	さす	す	らる	らる	らる	る	連体形																																																																																																																																																																																																																						
ける	し	しむる	さする	する	らるる	らるる	らるる	るる	已然形																																																																																																																																																																																																																						
けれ	しか	しむれ	さすれ	すれ	らるれ	らるれ	らるれ	るれ	命令形																																																																																																																																																																																																																						
○	○	しめよ	させよ	せよ	られよ	られよ	られよ	れよ	活用型																																																																																																																																																																																																																						
ラ変型	特殊型	下二段型		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形																																																																																																																																																																																																																							
	活用型の通用形(カ変・サ変には未然形にも接続)	右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		右以外の動詞の未然形		四段・ナ変・ラ変の未然形																																																																																																																																																																																																																							
210	完了	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">完了</th> </tr> <tr> <td>ぬ</td> <td>つ</td> </tr> <tr> <td>マウ、並列(マタリ、タリ)</td> <td>完了(マタ、マタシマツタ) 述(兼意)(キツトスル、マシ)</td> </tr> </table>	完了		ぬ	つ	マウ、並列(マタリ、タリ)	完了(マタ、マタシマツタ) 述(兼意)(キツトスル、マシ)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">完了</th> </tr> <tr> <td>ぬ</td> <td>つ</td> </tr> <tr> <td>マウ、並列(マタリ、タリ)</td> <td>完了(マタ、マタシマツタ) 意(兼述)(キツトスル、マシ)</td> </tr> </table>	完了		ぬ	つ	マウ、並列(マタリ、タリ)	完了(マタ、マタシマツタ) 意(兼述)(キツトスル、マシ)																																																																																																																																																																																																																
完了																																																																																																																																																																																																																															
ぬ	つ																																																																																																																																																																																																																														
マウ、並列(マタリ、タリ)	完了(マタ、マタシマツタ) 述(兼意)(キツトスル、マシ)																																																																																																																																																																																																																														
完了																																																																																																																																																																																																																															
ぬ	つ																																																																																																																																																																																																																														
マウ、並列(マタリ、タリ)	完了(マタ、マタシマツタ) 意(兼述)(キツトスル、マシ)																																																																																																																																																																																																																														
215	上 4	司馬睿 (元帝)、南遷し建業に晋を再興	司馬睿 (元帝)、南遷し建康に晋を再興 (三一七)																																																																																																																																																																																																																												